

～総合臨床実習に行ってきました～

私は、4月4日から5月27日までの8週間、総合臨床実習をさせていただきました。授業や教科書では分からない患部の様子や、患者様の訴えを間近で体感でき知識が深まりました。



実習の現場ではどんな検査をしてどのように治療を進めるのかを自分で考えて実行することが求められました。そのために大学で学ぶ基礎知識がどれほど大切かを実感しました。実習先の先生には、理学療法士として何に注目するか、検査治療に必要な触診技術などを優しく指導していただき、理学療法の考え方を学ばせていただきました。

また、他校の実習生とも分からないことは教え合い、空き時間には一緒に実技練習を行うほど仲良くなり、国家試験に必ず合格して、理学療法士になって再会することを約束しました。

大学 保健医療学部 理学療法学科 4年 井戸 亨
東京都立芦花高等学校出身

～オープンキャンでは学生スタッフがみなさんをお待ちしています～



今年もオープンキャンパス学生スタッフに、1年生の新メンバーが加わりました。学生スタッフが、大学内を案内するキャンパスツアーは参加者のみなさんから、好評をいただいています。

教職員に聞きにくいことや、学生からみた植草学園についてなど、直に質問できます。是非、ご参加ください。

～兄のユニフォームを受け継いでオープンキャンパス学生スタッフに～

私がオープンキャンパス学生スタッフをはじめたのは、兄に勧められたからです。兄は、私より四つ年上で、今年3月に植草学園大学を卒業しました。



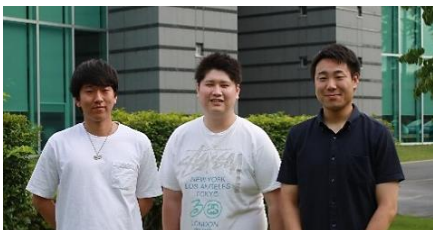
左：弟 俊平 右：兄 光平さん

入学直後、兄から「オーキャンのスタッフは勉強になる。入試・広報課の方に話しておいたから、当日はここにある俺のユニフォームを着てくれ」とスタッフポロシャツを渡されました。私はいきなりの事にびっくりしました。兄がオープン学生スタッフだったことは知っていましたが、まさか入学後すぐそのような話をしてくるとは思ってもみませんでした。しかし、これも自分を成長させる良い機会だと思い、やってみようと決めました。

当日は、先輩の動きを見習い、学科専攻説明の受付、保護者説明会の案内、遅れて来学された方の対応、帰りのバスへの誘導等の仕事をしました。特に難しかったのはキャンパスツアーです。希望する学科や知りたいことに合わせた案内をすることが大変でした。このような仕事を通じて相手が思うことを汲み取りサポートするという、貴重な経験ができました。次のオープンキャンパスではもっと丁寧な対応ができるように頑張りたいと思います。

大学 発達教育学部 発達支援教育学科 1年 丸尾 俊平
千葉県立九十九里高等学校出身

～短大 専攻科 特別支援教育専攻に入学しました～



私たち3人は、国際武道大学を卒業して、植草学園短期大学の専攻科特別支援教育専攻に入学しました。

大学では3人とも中学校・高等学校の保

健体育の教諭免許を取得しました。植草学園を知ったのは、国際武道大学の恩師から話を聞いたのがきっかけです。1年間で特別支援学校教諭の免許が取得できること、教員として特別支援の知識が必要だと感じたことが入学を決意した理由です。専攻科特別支援教育専攻は、既に教員免許を取得した方が集まっていますので、学修に対する意識がとても高いと感じています。先生方は特別支援学校の現場での経験が豊富で、日々の講義はとても充実しています。特別支援教育の専門性を身につけるため頑張ります。

国際武道大学に比べると、学食のボリュームは少なめなので、いつも大盛りで注文しています(笑)。

短大 専攻科 特別支援教育専攻
写真左から 浅沼 隼人・村越 昭彦・坂口 雄弥

～植草共生の森の池にメダカを放流しました～

6月3日に、千葉市立小倉小学校つばさ学級の児童と、本学学生ボランティアで、植草共生の森の池にメダカを放流しました。子どもたちは、早川准教授から、メダカの生態についての話を聞いた後、「メダカさん早く大きくなって」と声をかけながら放流しました。

※メダカは遺伝子のかく乱を防ぐため、大学の位置する鹿島川水系から採集したものです。

